

## 活動テーマ

## 身近な自然。自分たちでできること。

## 実践事例について

本校は、大津市北部葛川地区に立地し、豊かな自然を生かした学習を進めている。地域の森林を学校林として活用したり、目下を流れる安曇川を生かした琵琶湖学習に取り組んだりするなど、子どもたちは身近な自然を題材に学習を進めた。また、地域のために小中合同で清掃にいく取組も毎年行い、よりよい環境を作るための活動を行っている。

## 1 学校紹介

本校は、安曇川上流部にある小中学校が併設されたへき地校である。平成30年度より、小規模特認校制度の認定を受け、地元だけでなく、大津市在住の児童生徒が通える学校となった。市街地から通う子どもたちは、堅田駅からスクールバスを利用して通学している。学校には、水田や畑があり、近くの森林の一部を学校林として活用し、子どもたちは自然を題材とした活動を行っている。また、過疎化が進み学校閉校の危機を救おうと始まったKCLプロジェクト(K: know 知ってもらう。C: come 来てもらう。L: live 住んでもらう)を軸に学年に応じた取組がなされている。

## 2 エコ・スクールの取組

## (1) 学校林活動



子どもたちは年2回、小中学校全員で学校林に行き、下草刈りや枝打ち、冬支度など行っている。小学生は、学年に応じて学校林を生かした学習を進めている。

1. 2年生は、学校林を歩きながら木の変化に気づいた。3. 4年生は春に、森林組合の織田さんに木の種類や特徴についてのお話を聞いた。秋には落ち葉や木の枝などを拾う活動を通して、春と

の違いに気づいていた。5年生は写真を撮り川柳を作る活動を通して森林に親しみながら木や植物の変化に気づいていた。

小中学校でグループをつくり、1本の木を観察する活動を行った。この活動は継続して行っており、木の太さや高さの変化に気づくことができた。

森林組合の方と連携をとり、学校林がどのような状況なのかを把握し、注意しなければならないことを考えた。また、子どもたちが取り組みたい活動について相談し実施することができた。

## (2) 地域清掃



夏と秋の年2回小中学校全校で校区に出かけ、清掃活動を行った。夏は、地域行事である太鼓回しの時期に合わせて、会場となる明王院や地主神社周辺を、秋は各地域の公民館周りや社寺周辺を行った。

活動を実施する前に小学校5年生が地域清掃をする理由について考えた。子どもからは、「来てくれた人に『きれいなとこやな』と思ってほしい」や「地域の一員として地域をきれいにする」などが出てきた。これらを小学校全体で共有したことで、各地域に分担された子どもたちは一生懸命掃除に取り組む姿が見られた。

### (3) 1. 2年生の町探検



10月19日に細川地区に探検に行った。地域教育コーディネーターと山や川の様子について相談し、安全面の確認や活動の実施計画を考えた。当日は細川地区を歩きながら植物や木の種類について考えながら歩いた。また、河原に降りて石を探したり、川の様子を観察したりした。豊かな山の様子や川のきれいさに気づいていた。

11月2日に町居探検に行った。細川探検と同様に植物や落ち葉を拾い、河原に降りて石拾いや川の観察を行った。細川探検とくらべて、植物や木の同じところやちがうところ、石や川の流れなどがちがうことに気づくことができた。

### (4) 3. 4年生の町探検



3. 4年生は葛川の魅力を見つけるという目標で活動を行った。子どもたちは、葛川の魅力について地域教育コーディネーターにインタビューを行った。その中で、坂下地区と仲平地区の飲食店のことを知り、その地区の探検とお店への訪問を計画した。お店の方へのインタビューを通して、葛川の豊かな自然によってたくさんの食材が育まれていることを知った。また、探検の中で、木地師や筏師など、葛川の森林資源をいかした仕事をしてきた人がいたことを知った。

### (5) 間伐体験・アロマオイル蒸留体験

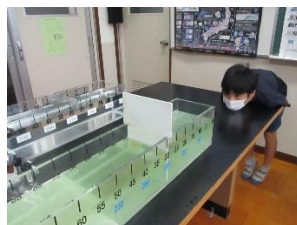


5年生は、KCL プロジェクトの取組の一環として、間伐材を生かしたアロマグッズ開発に取り組んでいる。地域でアロマオイルを作っておられる

団体の方々や、京都の京北町でアロマの精油を作って販売されている方、アロマセラピーの講師の方などをお招きし、話を聞いた。間伐や枝打ちで出た資源を大事に使う考え方に、子どもたちは感銘を受けた。

森林組合の織田さんにご指導いただき、学校林のスギの木を1本間伐した。のこぎりで細かく切り分け、枝葉を袋に詰めて学校に持ち帰った。アロマオイルの蒸留器を用いて、地域のアロマ隊の方々のご指導の下、精油の蒸留体験を行った。切りたてのスギ葉から採れた精油のさわやかな香りを体験できただけでなく、木の間伐から精油の抽出までの一連の流れを体験できたことで、「すごく勉強になった」と子どもたちも満足そうだった。

### (6) 安曇川流域の水調査



5年生はこれまでの森林と川の学習を経て、葛川や久多の良さは川の水のきれいさだと感じている。支流や源流などのよりきれいな水の場所をつき止め、「おいしい水スポット」として地域をアピールしたいと考えた。

そこで、県下5年生が体験するびわ湖フローティングスクールに向けた水の学習と、理科の『流れる水のはたらき』の学習と関連させ、安曇川流域3か所のフィールドワークを行った。安曇川の中上流域、下流域、河口域を順に見て、川原や川の様子を観察するとともに、水のサンプルを採取した。フローティングスクールの事前学習で水の透視度調査の方法を指導主事の先生から教わり、水のきれいさを数値にして比較することを子どもたちは学ぶことができた。

安曇川で採取した水は目視だとどれも無色透明で、透明度を調べてもあまり違いが分からなかった。そこで次はパックテストを用い、OCD(科学的酸素要求量)を調べた。やはりどれも同じできれいだった。子どもたちは、支流や安曇川の源流に興味をもち、水が湧き出ているところを実際に見てみたいと意気込んでいる。

### 3 終わりに

本校は、葛川久多の自然を生かした数多くの取組が行える立地条件を生かして、年間を通してカリキュラム編成を行っている。今年度も、学校林活動を主として、各学年で町探検や間伐体験、調査などに取り組むことができた。子どもたちは、環境に目を向けることが日常であり、少人数の利を生かしてたくさんの体験活動を行うことができた。

五感を使つての活動は、子どもたちにとって非常に有益であると考え、それらの経験から、KGLプロジェクトとして葛川の自然などの魅力を発信していくことを期待している。今後も、地域と共に自然環境を生かした学校を作っていきたいと考える。

学校名	大津市立葛川小学校
住 所	大津市葛川中村町108-1
電話番号	077-599-2154
E-mail	Ktr-e@otsu.ed.jp